

令和6年度 江戸川区立平井小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	やりぬく平井の子 やりぬく心 やりぬく体	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかった、できた、学ぶ楽しみがある学校 友達いっぱい、今日も行きたい学校 地域を大切に地域に愛される学校</li> <li>・よく聞き深く考え表現できる子ども 違いを認め合い思いやりあふれる子ども 勇気をもって一歩を踏み出せる子ども</li> <li>・子どもの可能性と意欲を引き出す教師 人間味あふれる教師 プロ意識をもち、自ら学び自ら高める教師</li> </ul>	
前年度までの本校の現状	成果	課題	子どもたちが自ら課題を見出し、解決の課程で仲間と共に試行錯誤しながら自己の学習を調整し粘り強く取り組む学びを全教科・領域で実現を図った。	自他のよさを認め、すすんで学びに向かう学習集団を目指し、次の学びにつなげていこうと自己調整を行えるように振り返りの場を大切に指導していく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○教員の指導力向上、基礎学力の保障、学習習慣の確立	○学校と民間業者による補習教室の実施 ○よむYOMUワークシートの実施（年間30回） ○ベーシックドリルの活用（年間3回） ○ミライシード活用 ○「江戸川っ子study week」の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査⇒都の平均以上</li> <li>・ベーシックドリル診断テスト、学力定着度調査⇒正答率5%向上</li> <li>・学習に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90%</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上のための新しい取り組みが始まった。少しずつ軌道に乗せていく。ベーシックドリルの正答率を上げていきたい。</li> <li>・自分の意見の理由を伝える力を伸ばしていきたい。安心して発表できる環境づくりを心掛けていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の取り組みが始まり、これまでの成果を生かしながら、子供たちのためになるように工夫してもらいたい。</li> <li>・自ら進んで学習に取り組もうという意識が高いことがよい。意欲的に学習に取り組めるように今後もお願いしたい。</li> </ul>					
	○読書科の更なる充実	○年間1回の授業公開 ○読書活動の充実（あじさい読書週間、とんぐり読書週間など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書科に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90%</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室を利用する児童は増えてきている。読書週間や読み聞かせなどを積極的にやっていく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開で読書科の授業の様子を見させていただいた。今後も他学年での授業の様子を見たい。</li> </ul>					
体力の向上	○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実	○なわとびチャレンジ週間の実施（年間3回） ○なわとび出前授業の実施 ○朝の「ゆうゆうタイム」の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テスト調査⇒都の平均以上</li> <li>・体力向上に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90%</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の取り組みである「なわとび」への取り組みを継続できるような工夫が必要。</li> <li>・体力テストの結果を検討し、苦手な分野について改善を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人差、学年差があるようなので、楽しみながら体力向上できるような取り組みを工夫してもらいたい。</li> <li>・運動が好きだと感じている児童がたたくさんいることは、先生方の指導のおかげなので、継続してもらいたい。</li> </ul>					
	○違いを認め合い思いやりあふれる子どもの育成	○全教育活動における道徳教育の充実 ○花いっぱい運動の実施 ○異学年班活動の実施 ○校内外のボランティア活動の推進 ○「平井ルミナル」との交流活動 ○キャリアパスポートを通じたキャリア教育の充実 ○山中連携（9年間を見通した学習・生活指導）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に関する児童意識調査結果で、肯定的回答90%</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動を通して、違いを認め合うことの大切さを指導していく。</li> <li>・キャリアパスポートの効果的な活用方法を検討していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に夢や希望を感じている児童の割合が多いこと、目標を達成しようと努力している児童が多いことがとてもよい。</li> </ul>					
不登校・いじめ対応の充実	○勇気をもって一歩を踏み出せる子どもの育成	○「平井っ子家庭ルール週間」の徹底 ○SNS ルールの定着 ○挨拶・着帽・名札の徹底 ○食育の推進 ○HyperQ-Uを活用した生活指導 ○児童の変容把握シートの作成・更新・活用 ○エンカレッジルームの活用 ○個別支援計画の作成 ○SSW・SC との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめアンケート（年3回）</li> <li>・HyperQ-U実施、校内でのQ-U研修の実施（年1回）</li> <li>・体罰に関するアンケート（年1回）</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もアンケートを行い、実態を把握しながら、いじめをなくしていくように指導を行っていく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子を見守り、一つ一つに対応してくださっている。小さないじめも見逃さないように今後もお願いしたい。</li> </ul>					
				A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みを活用して、結果を生かすための研修を実施した。様々な対応へのヒントを学ぶことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態を把握し、効果的な対応をお願いしたい。児童のよりよい人間関係形成ができるように支援をしていただきたい。</li> </ul>					
				A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務事故防止研修を通して、体罰はしない、させないといった環境づくりが大切だと学んだので、生かしていきたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方も様々な業務を抱え、一人一人の対応を考えてくださっているのが大変だと思いますが、報連相をしっかり行い、対応していただきたい。</li> </ul>					
学校（園）の実現	○地域との交流の場の確保	○PTA 活動・主催行事、地域行事への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の参加率60%以上</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボール大会などのPTA主催の行事に参加できた。2学期は、PTAによる平井小まつりが行われるので、参加していきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの先生方に参加いただき、子どもたちも喜んでいました。今後も活動の場を広げていきたい。</li> </ul>					
	○学校ホームページの充実	○ホームページ、Tetoruでの情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事ごとの更新</li> <li>・保護者への配布物の配信、更新</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPやTetoruを活用しながら、情報公開を行ってきた。普段の活動の様子についても、HPなどで情報公開していきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPIに毎月発行されるお便りがアップされたり、Tetoruで配信していただけるので、学校での活動がわかる。</li> </ul>					
	○学校関係者評価の充実	○児童、保護者、地域、教職員へのアンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間2回実施</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりたくさんのご意見をいただき、よりよい学校運営を行っていくよう、アンケートにご協力いただきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価を活用し、効果的な活動であるかを振り返られていることがよい。よりよい教育活動となるよう期待している。</li> </ul>					
教育の特色ある展開	○協働的な課題解決型学習の推進	○研修内容の精査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員の授業公開（年間1回）</li> </ul>	B		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究授業や管理職による授業観察の時間を活用し、お互いの授業を見合う機会を大切にしていきたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が協働的に課題解決していけるような工夫を考え授業改善をされていることがよく分かった。</li> </ul>					
	○OOJTの充実	○OOJT体制の整備 ・管理職→主幹 ・主幹→主任 ・主任→教諭 ・メンター、メンティー制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施</li> </ul>	A		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの先生からOOJTで普段取り組んでいることを紹介してもらったことで、明日の授業に生かしたいという意欲がわいてきた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの得意分野を学び合うことで、自分に足りない部分が見えてくるのは成長につながることでと考える。</li> </ul>					